

2020年度VLBI懇談会シンポジウム

ポスターセッション 説明

- Slackを使ったポスターセッションの使い方を説明します。
- 参加登録されたポスターリストは

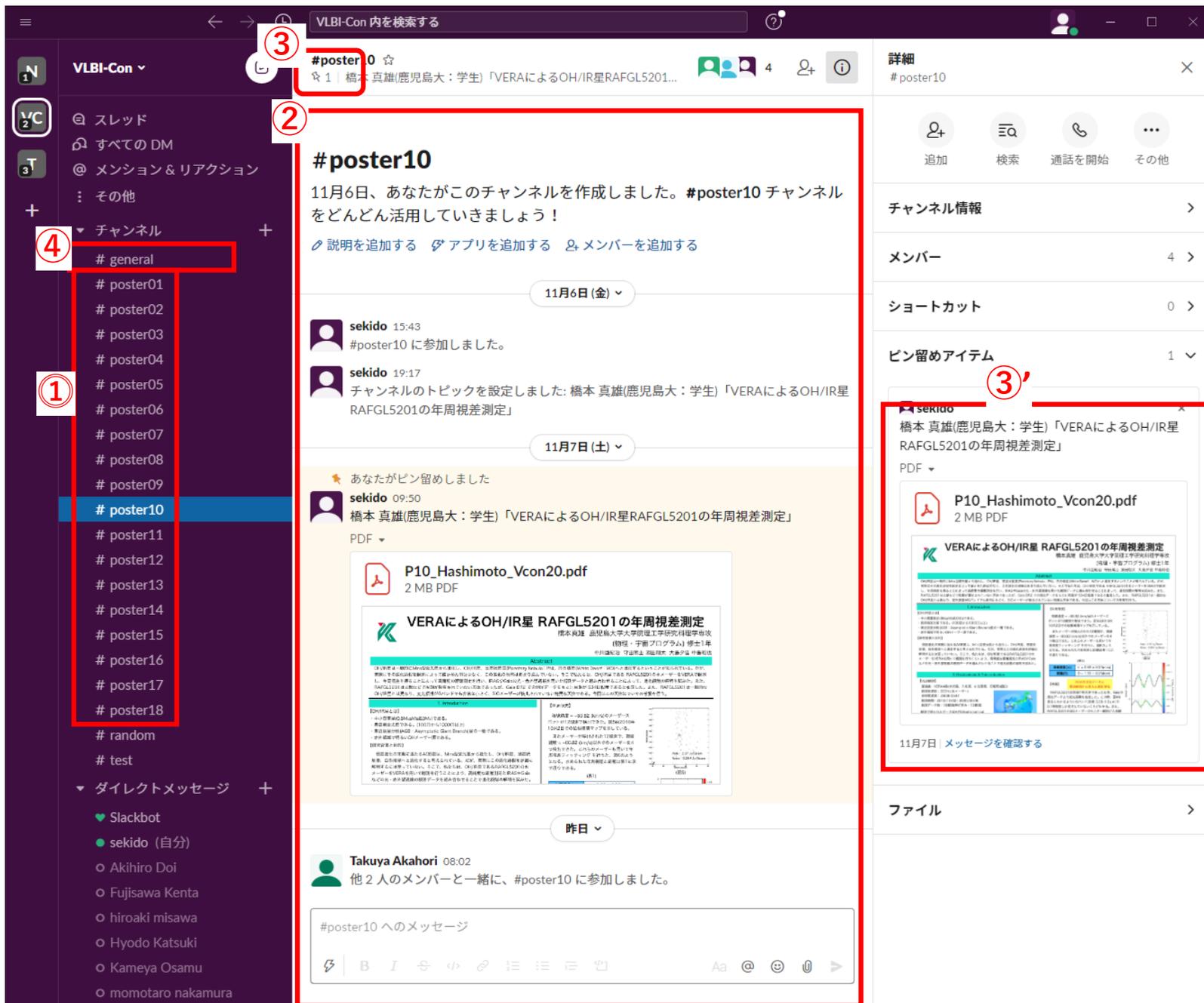
<https://www2.nict.go.jp/sts/stmg/vcon/symposium2020/regist.html#Poster>

にも表示しており、Slackに参加登録していない方でも閲覧できます。

ポスター講演：Slackを使ったChat会議

- Slackへの参加は、招待URL (https://join.slack.com/t/vlbi-con/shared_invite/zt-iwxan7f7-RHPeVF46Y2XNbODwucjDZg) から参加登録する必要があります。
- **アカウント**：上記URLにアクセスすると、SlackのIDでのログイン(初めての方はアカウント作成)を求められます。ログインするとポスターセッションのワークスペースに入れます。
- **参加ツール**：WEBブラウザを通じた利用、又はデスクトップアプリ(インストールが必要)を使った利用ができます。
- Slackのログイン後の画面は次ページのような画面です。

Slackの使い方



- ① 各ポスターは「チャンネル」とよばれるページの中に掲示されています。ポスター番号を選択すると、選んだポスターのページが表示されます。
- ② #Poster10の「チャンネル」の例です。ポスターが掲示されており、これについて質問・議論を行います。議論が進むとページが上に流れて行きポスターが見えなくなってしまいます。その場合ピン止め(③)の機能を使ってポスターを表示してください。
- ③ 世話人が各ポスターのファイルをあらかじめ「ピン止め」しています。「ピン」のマークをクリックすると右側のウィンドウ(③')にピン止めされたポスター資料が表示されます。
- ④ “#general”のチャンネルは総合案内です。お知らせ事項など書き込みます。ポスターセッション全体に関する質問などありましたら書き込んでください。

Slackの使い方(2)

The screenshot shows the Slack interface with several annotations:

- ⑤** Points to the "その他" (Other) option in the left sidebar.
- ④** Points to the "チャンネル検索" (Channel Search) option in the left sidebar.
- ⑥** Points to the "ダイレクトメッセージ" (Direct Message) option in the left sidebar.
- ⑦** Points to the "通話を開始" (Start Call) button in the channel header.

The main content area shows the "#poster10" channel with a message from "sekido" containing a PDF file named "P10_Hashimoto_Vcon20.pdf". The PDF content is visible, showing a document titled "VERAによるOH/IR星 RAFGL5201の年周視差測定".

- ⑤ 閲覧したいポスターのチャンネルが表示されていない場合は⑤「その他」→「チャンネル検索」で目的のポスター番号の「チャンネル」を探し、「参加する」を選択する。ポスターはposter01からposter18まであります。poster06は発表ありません。
- ⑥ 「ダイレクトメッセージ」を使うと参加者の人と直接やり取りができます。
- ⑦ 直接電話で話をすることも可能です。